

真夏の暑さが続く中、1学期の終業式を迎えました。4月に新学年がスタートして4か月、日々の学校生活は充実していますか。授業、学校行事、部活動…に打ち込めていますか。主体的に取り組めば取り組むほど、得られるものも大きくなります。三者面談を経て、夏休みの過ごし方も明確になったことと思います。それぞれが自身の目標を達成できる有意義な夏になりますように。

硬式野球部・吹奏楽部・全国大会出場者の壮行会 7月3日

7月3日（水）、1学期期末考査終了後、11時から県総体等上位入賞者の表彰式を行い、続いて硬式野球部・吹奏楽部・全国大会出場者（レスリング部宮本次飛さん、美術部尾仲陽夏さん）の壮行会を体育館で実施しました。最初に下村校長が「高校で部活動を頑張ってきたすべてをかみしめて、一生懸命チャレンジしてほしい。野球部は統合後の新しい高校やクラブを象徴する合同チームとして、印象に残るような戦いを。吹奏楽部はその瞬間に最大限の力を発揮できるよう準備を。インターハイや総合文化祭では、新宮高校の名を全国に響かせよう。」と語りかけました。3年生で生徒会副会長の後岡遼亮さんは、「代表としての誇りを持ち、これまでの自分たちの頑張りを信じて、大会に挑んでください。在校生一同応援しています。」とエールを送りました。これらを受け、各クラブ、出場・出展者が、「力を合わせて最高のパフォーマンスをしたい」「全国の仲間から刺激を受け、自身を高めたい」など、大会に向けての抱負を語り、健闘を誓いました。新高生の健闘を祈ります！



1 学年科目選択説明会 7月5日

7月5日（金）19時から会議室において、1学年保護者対象の科目選択説明会を開催しました。約100名の保護者の方々が出席くださり、下村校長の挨拶の後、岩倉教務部長が2・3年次の教育課程や、進路希望と2年次の選択群における選択の仕方の関連性等について説明しました。



国連セミナー（高校生のための和歌山未来塾） 7月5日

7月5日（金）7限目に1年生を対象に体育館で元国連世界食糧計画（WFP）のアジア地域局長である忍足謙朗（おしだりけんろう）氏による「世界とつながる国連セミナー」を実施しました。テーマは「国連から見る世界の不公平」です。世界の飢餓問題や紛争地への食糧支援について忍足氏の講話を聞きながら、世界の現状や今後について考えました。忍足氏は、「感染症が広がったときも、世界は本当に小さいと感じた。環境も経済も、世界はすべて繋がっている。困ったときはお互いさま。世界のことに関心を持ち、心のどこかで自分は世界の一市民であるという気持ちを持ってほしい。」と訴えました。また、多様性のある仲間とチームで仕事をする中で、人は違いより似ているところの方が多いことや、リーダーは、①誰に対しても公平であること、②勇気（のある決断、判断）、③思いやりを持つことが大切であることなどを話されました。その後、質疑応答の時間となり、生徒たちは「食品ロスをどう考えるか」や「理想の世界とは」、「国連で仕事をしようと思われたきっかけは」など、時間いっぱいまで質問を続けました。16時から、場所を会議室2に移し、1～3年生の希望者を対象に第2部を行いました。参加した約15名の生徒たちは17時を過ぎるまで、途切れることなく忍足氏に質問し、質疑応答を繰り返しながら考えを深めました。第1部も第2部も大変有意義な時間となりました。



夏休み前進路研究講座&共通テスト対策英語講座 7月8日

7月8日(月)、夏休み前進路研究講座と共通テスト対策英語講座を2・3年生を対象に実施しました。夏休み前進路研究講座は、面接や自己アピール書について学び、自身と向き合い、進路実現に繋げることを狙いとして行いました。共通テスト対策英語講座は新中会(旧制新宮中学校同窓会)と新宮高校同窓会の後援により、予備校の英語講師・妹尾真則氏に來校いただきました。「さあ、飛躍のしっぽをつかもう!」と題した特別授業で、英語を土台から着実に頭の中に構築していく、充実した学びの機会となりました。夏の学習にしっかりと繋げていきましょう。



山東師範大学生來校 7月16日

7月16日(火)9時すぎに、中国の山東師範大学生30名と先生3名が來校しました。會議室で下村校長が歓迎の挨拶を行い、訪問団代表の曲団長も挨拶されました。2限目には、生徒代表(小賀柚那さん、小松明日香さん、山本美宮仁さん)の英語・中国語での挨拶の後、5グループに分かれて、校内の施設見学と授業見学を実施しました。3限目には、各HR教室(5クラス)で2学年全員との交流会を行い、ミニスポーツやゲームなど、準備してきたさまざまな形で積極的な交流がなされました。あっという間に打ち解けた雰囲気になり、授業時間が終わる頃には、名残を惜しむ姿があちこちで見られました。訪問団は12時頃に本校を出発されましたが、とても貴重な経験となりました。



1学期終業式 7月19日



7月19日(金)1・2限授業、一斉清掃の後に、1学期終業式を体育館で行いました。県民歌斉唱、校歌斉唱に続いて、下村校長が式辞を述べました。1学期の新高生の頑張りを振り返った上で、県総体女子サッカー決勝戦でも感じた「やればできる」ということを是非皆にも思ってもらい、そして「やればできる」に大切なことは、向上心をもって「こうなりたい」と思うこと、我を見失うぐらい懸命になることだと話されました。また高校時代は勉強するときであり、数学者・岡潔の言葉を引きながら、やるべき時期に勉強をしなかった代償は、成長とともに大きくなり人生に影響していくので、今こそ学ぼうと呼びかけました。この夏の取組が進路に直結していく3年生はもちろん、1・2年生も含めてしっかり勉強する夏休みにしてほしい、そして2学期始業式には成長した姿を見せてほしいと語られました。また、終業式後には生徒支援部から夏休みの諸注意があり、その後、新体操服の選定結果も報告されました。8月25日までの夏休み、健康には気をつけて、充実した時間を過ごしてください。



☆☆☆進路関係の説明会を実施☆☆☆



- 7月 4日 和歌山大学校内説明会
- 5日 和歌山県立医科大学医学部校内説明会
- 8日 和歌山リハビリテーション専門職大学校内説明会
- 10日 和歌山県立なぎ看護学校校内説明会
- 12日 和歌山県立医科大学保健看護学部校内説明会
- 16日 防衛大学模擬授業、防衛大学・防衛医科大学校内説明会
- 17日 和歌山県立医科大学薬学部校内説明会



☆☆☆地域の取組に参加☆☆☆

- 7月 7日 世界遺産登録20周年記念事業～輝く遺産 奏でる音楽～(丹鶴ホール)吹奏楽部
- 21日 動画コンテスト&高校生・中学生合同文化祭(丹鶴ホール)生徒会執行部・放送部他
- 27日 世界遺産登録20周年記念事業くまのこどもサミット(熊野速玉大社)